

朝日放送テレビ 横山太一アナウンサーが ANN アナウンサー賞で「優秀賞」を受賞

朝日放送テレビの横山太一アナウンサーが、「プロ野球中継 阪神対オリックス」の実況で、第20回 ANN アナウンサー賞のスポーツ実況部門で「優秀賞」を受賞しました。

「ANN アナウンサー賞」は、ANN 系列加盟 26 社のアナウンサーが年間を通じて携わったアナウンス業務のうち取材・構成・アナウンスメント技術において多大な努力が認められ、特に1年間の成長・技術的向上が顕著であったものに対して贈られる賞です。

横山太一アナは、「プロ野球中継 阪神対オリックス」の実況で第20回アナウンサー賞の「スポーツ実況部門」において「優秀賞」を受賞しました。



【審査員のコメント】

『彼は、入社3年目の夏に高校野球のラジオ中継で実況デビューしましたが、その年の秋にテレビの早朝番組の担当となり、以来10年早朝番組に専念し、2020年秋に番組を離れてスポーツ班に復帰しました。そして、2021年春から実況に復帰。つまり10年ぶりの実況中継で、さらに、今回の提出作品は「生まれて初めての地上波テレビ中継」でした。「その経緯を考えると、実に素晴らしい実況中継だった。彼の努力に敬意を表したい」というのが、スポーツ実況審査員の一致した見解です。』

【横山太一アナウンサーのコメント】

まさか優秀賞を取れるとは思っていませんでしたので、とても嬉しいです。自分にとっては10年ぶりにスポーツ実況の担当に戻り、この試合は自身初めてのテレビ実況だったので、とにかく手一杯だった記憶があります。解説者の関本賢太郎さんにも助けていただいた上での受賞だと思っています。今回の受賞で満足することなく、よりわかりやすい実況を追求していけたらと思います。

